

2016年12月期 決算説明会

2017年2月14日
藤田観光株式会社
(証券コード：9722)

本日の説明内容（目次）

【Ⅰ】2016年12月期業績	P1	【Ⅲ】2017年度業績予想	P13
1.損益計算書	P2	1.通期予想数値（連結）	P14
2.貸借対照表・キャッシュフロー計算書	P3	2.通期予想数値（セグメント別）	P15
3.セグメント別状況	P4	【Ⅳ】セグメント別施策	P16
4.セグメント別売上高	P5	1.セグメント別施策（WHG事業）	P17～18
5.セグメント別営業利益	P6	2.セグメント別施策（リゾート事業）	P19～20
【Ⅱ】セグメント別状況	P7	3.セグメント別施策 （ラグジュアリー＆バンケット事業）	P21～22
1.セグメント別状況(WHG事業)	P8～9	4.株主還元	P23
2.セグメント別状況(リゾート事業)	P10	参考資料	P24～25
3.セグメント別状況 （ラグジュアリー＆バンケット事業）	P11		
4.インバウンドの当社状況と施策	P12		

【 I 】 2016年12月期業績

損益計算書

先行投資期ながらも営業利益・経常利益は前年比増益

単位：億円	2016/12	2015/12	前年比	2016/12 予想	予想比
	実績	実績		(8/8発表時点)	
売上高	687.8	639.8	48.0	695.0	▲ 7.1
営業利益	17.1	0.3	16.7	18.0	▲ 0.8
減価償却費等負担前営業利益	72.1	51.4	20.7	74.0	▲ 1.8
経常利益	16.9	▲ 1.7	18.7	16.0	0.9
親会社株主に帰属する当期純利益	8.5	0.3	8.2	5.0	3.5

■ 特別利益 21.6億円

(主な内容：株式売却益14.3億円、損害賠償金5.8億円)

■ 特別損失 17.1億円

(主な内容：事業撤退、遊休土地の時価下落などに伴う固定資産の減損損失13.1億円)

貸借対照表・キャッシュフロー計算書

先行投資により固定資産が増加

単位：億円、%	2016/12	2015/12	前年比
	実績	実績	
総資産	1,058.3	1,047.3	11.0
純資産	265.2	270.1	▲4.8
有利子負債	457.5	448.1	9.4
自己資本比率	24.9%	25.6%	▲0.7%
営業キャッシュフロー	62.4	▲4.1	66.6
投資キャッシュフロー	▲60.0	▲81.8	21.8
設備投資額（キャッシュベース）	95.0	81.6	13.3

■ 投資の資金調達のため、有利子負債増加

（中期経営計画期間中で500億円以下を予定）

■ 前年を上回る積極投資を実施

（新宿ワシントンホテルの改修、箱根小涌園 天悠の建設など）

セグメント別状況

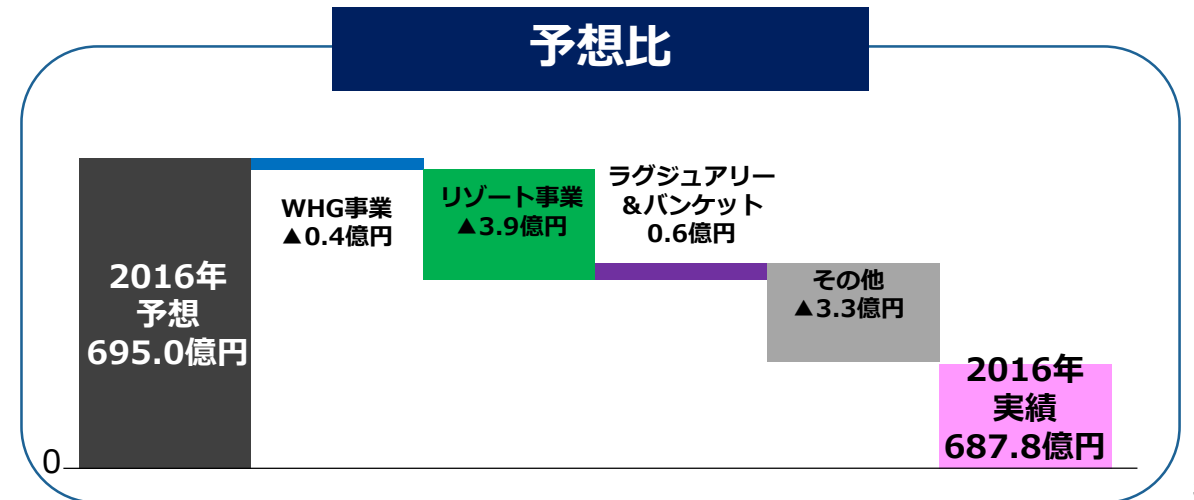
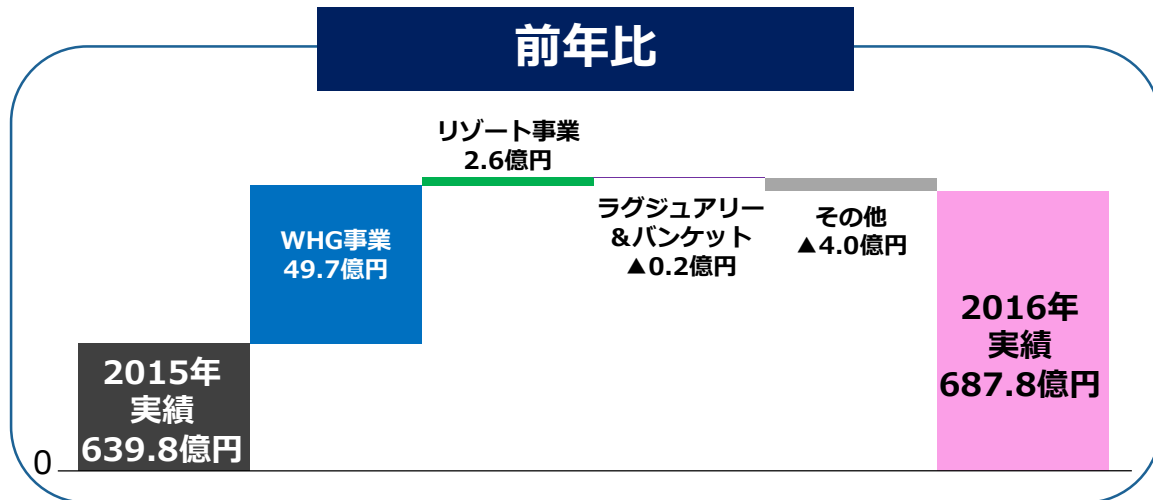
本社費配賦ルールの変更に伴いセグメント数値を変更

単位：億円		2015/12 通期実績		2016/12 第2Q実績		2016/12 通期予想	
		変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後
		WHG事業	売上高	279.7	279.7	151.5	151.5
	営業利益	8.1	6.9	2.4	1.9	20.5	19.5
リゾート事業	売上高	64.9	64.9	29.9	29.9	71.5	71.5
	営業利益	▲ 3.0	▲ 3.3	▲ 5.0	▲ 5.1	▲ 1.0	▲ 1.5
ラグジュアリー& バンケット事業	売上高	262.4	262.4	126.2	126.2	261.5	261.5
	営業利益	1.0	4.4	1.1	2.9	4.5	8.5
その他および調整額	売上高	32.6	32.6	14.5	14.5	32.0	32.0
	営業利益	▲ 5.7	▲ 7.7	▲ 2.9	▲ 4.0	▲ 6.0	▲ 8.5
合計	売上高	639.8	639.8	322.2	322.2	695.0	695.0
	営業利益	0.3	0.3	▲ 4.3	▲ 4.3	18.0	18.0

セグメント別売上高

WHG事業の牽引により、リゾート・L&Bの減収をカバー

		2016/12 通期実績	2015/12 通期実績	前年比	2016/12 通期予想 (8/8発表時点)	予想比
単位：億円						
W	H G 事業	329.5	279.7	49.7	330.0	▲ 0.4
リ	ゾート 事業	67.5	64.9	2.6	71.5	▲ 3.9
ラ	グジュアリー&バンケット事業	262.1	262.4	▲ 0.2	261.5	0.6
そ	の他 および 調整 額	28.6	32.6	▲ 4.0	32.0	▲ 3.3
売	上 高 合 計	687.8	639.8	48.0	695.0	▲ 7.1

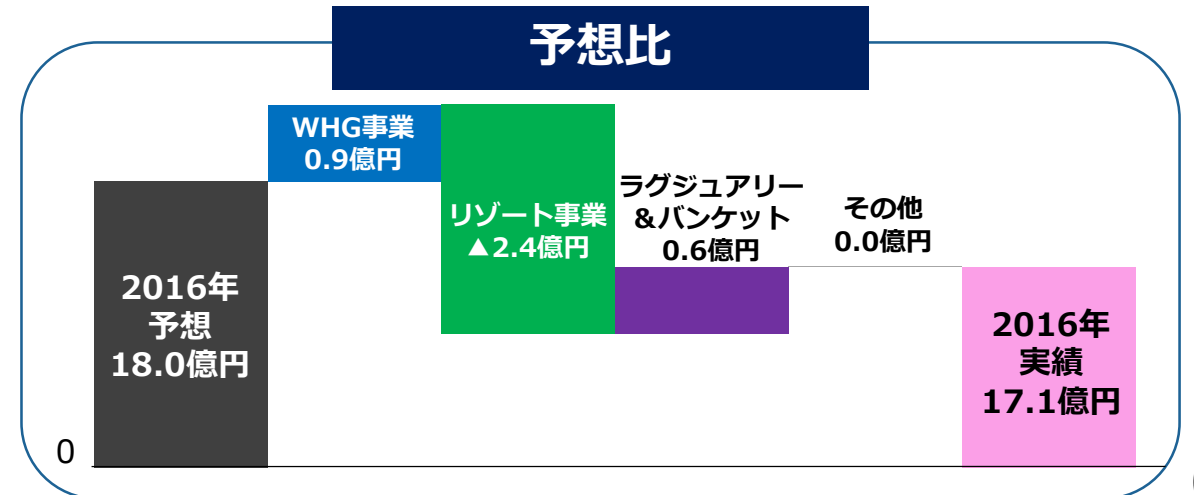
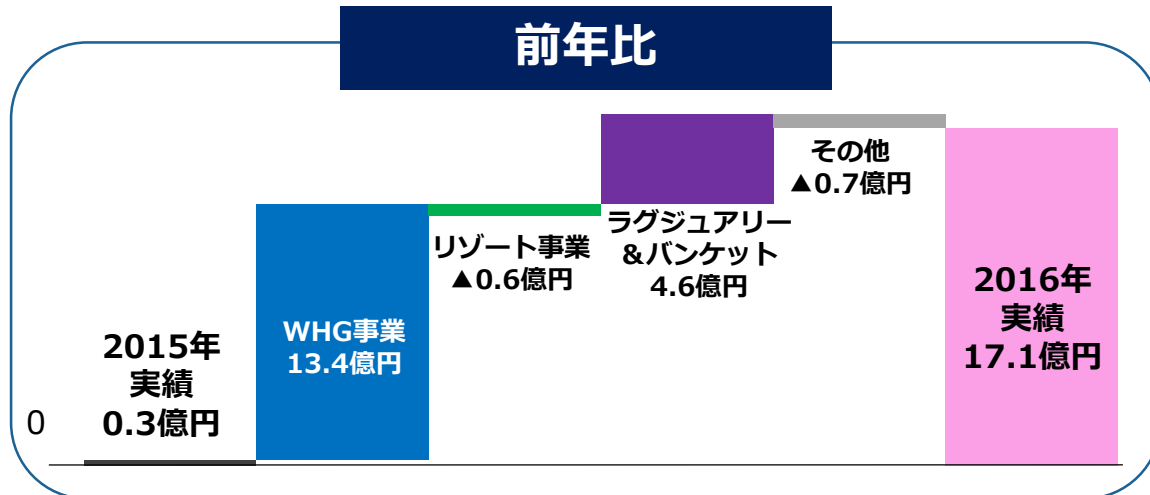


セグメント別営業利益

WHG事業が好調で前年比大幅増益

単位：億円

	2016/12 通期実績	2015/12 通期実績	前年比	2016/12 通期予想 (8/8発表時点)	予想比
W H G 事業	20.4	6.9	13.4	19.5	0.9
リゾート事業	▲ 3.9	▲ 3.3	▲ 0.6	▲ 1.5	▲ 2.4
ラグジュアリー&バンケット事業	9.1	4.4	4.6	8.5	0.6
その他および調整額	▲ 8.5	▲ 7.7	▲ 0.7	▲ 8.5	0.0
営業利益合計	17.1	0.3	16.7	18.0	▲ 0.8



【Ⅱ】セグメント別状況

セグメント別状況（W H G 事業①）

5月以降進捗鈍化も客室単価の上昇で予想比増益

単位：億円	2016/12	2015/12		2016/12	予想比
	実績	実績	前年比	予想 (8/8発表時点)	
売上高	329.5	279.7	49.7	330.0	▲0.4
営業利益	20.4	6.9	13.4	19.5	0.9

◆2016年トピックス◆

新宿ワシントンホテル
4月1日全室稼働【1,279室】

大規模改修が終了し、4月
から全室稼働



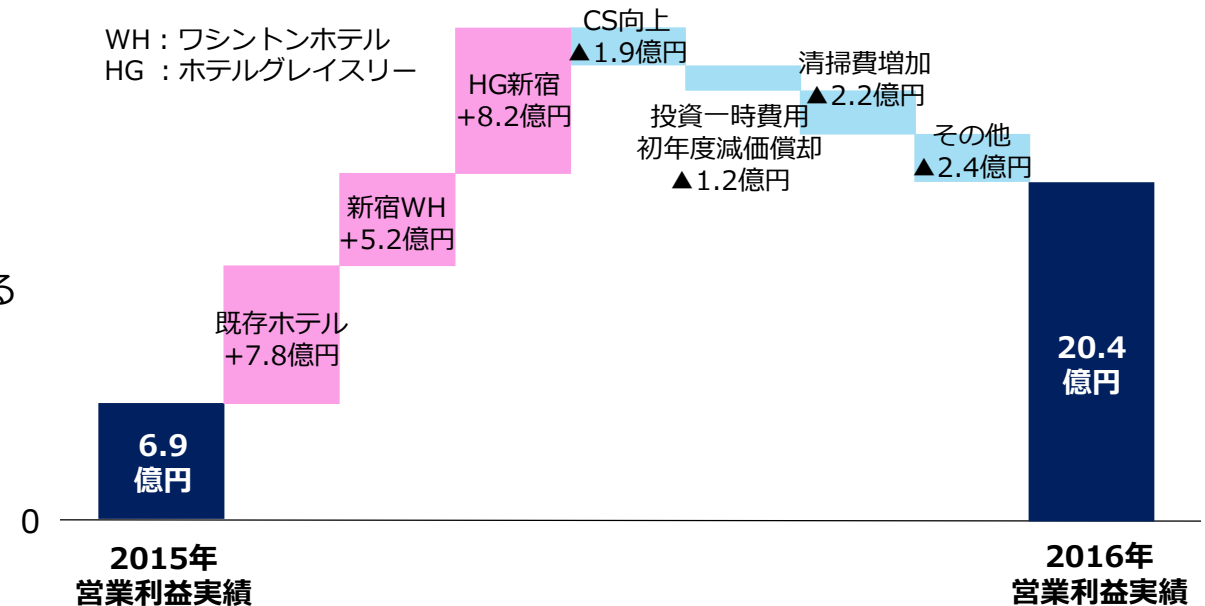
ホテルグレイスリー那覇
4月7日開業【198室】

ホテルグレイスリー京都三条北館
7月1日開業【97室】

両ホテルとも客室単価が計画を上回る



◆営業利益 前年比増減要因◆



セグメント別状況（WHG事業②）

WHG新宿と地方の客室単価上昇が牽引

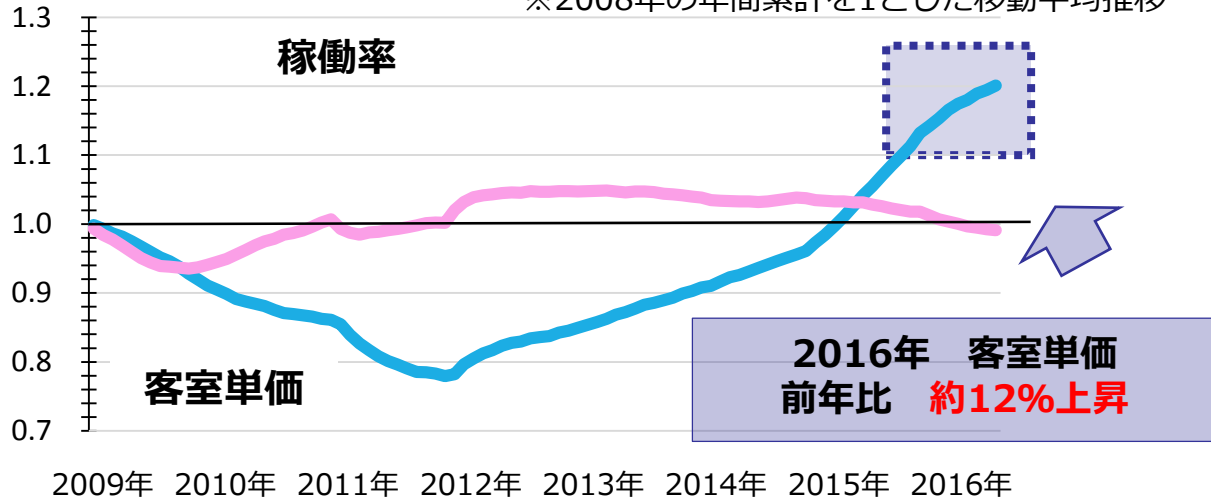
- ▶ **インバウンドの個人客（FIT）の誘客に成果**
外国人専用カウンターやコンシェルジュデスクの設置により、スムーズで決め細やかなサービスを提供
- ▶ **会員顧客（FGMC）向けサービスの充実**
「72時間前までのシングルルーム優先予約サービス」を開始し、シングルルームの約20%のお部屋を会員の皆様向けに確保

◆2016年度実績◆

	首都圏（5,026室）		地方（2,887室）	
	稼働率	客室単価	稼働率	客室単価
2015年比	2%減	19%増	2%減	11%増
2014年比	5%減	28%増	2%減	22%増

◆稼働率・客室単価推移◆

※2008年の年間累計を1とした移動平均推移



- ・4月以降の需要鈍化を受け、柔軟な価格コントロールを実施
- ・インバウンドの地方分散により地方は好環境で推移
- ・新宿ワシントンホテルはリニューアルに伴う販売価格の変更により客室単価が上昇

▶ 新宿ワシントンホテル

	販売可能客室数	客室単価
2015年比	42%増	18%増
2014年比	16%減	27%増

セグメント別状況（リゾート事業）

主力の箱根で日帰り回復途上も宿泊は堅調に推移

単位：億円	2016/12	2015/12		2016/12	予想比
	実績	実績	前年比	予想 (8/8発表時点)	
売上高	67.5	64.9	2.6	71.5	▲ 3.9
営業利益	▲ 3.9	▲ 3.3	▲ 0.6	▲ 1.5	▲ 2.4

◆ 2016年度 箱根主要施設実績 ◆

箱根小涌園ユネッサン	計画比	2015年比	2014年比
入場人員	11.9%減	5.9%増	32.9%減
一人あたり入場単価	2.8%減	6.1%増	12.1%増

箱根大涌谷の火山性地震による影響から回復傾向にあるものの入場人員、一人あたり入場単価とも計画比減

箱根ホテル小涌園	計画比	2015年比	2014年比
稼働率	3.7%増	3.4%増	2.9%減
客室単価	6.4%増	10.7%増	10.9%増

高付加価値商品の販売や、販路を拡大したことにより客室単価が上昇稼働率も80%台後半まで上昇

◆ 箱根再開発に向けた取り組み ◆

2015年度より箱根地区の再開発に着手園内における新施設の開業・リニューアルを進める



宿泊施設「美山楓林」



鉄板焼き「迎賓館」



蕎麦「貴賓館」

・2017年4月20日「箱根小涌園 天悠」のスムーズな開業に向け人材育成やスタッフトレーニングを進めるとともに、顧客開拓のための販売チームを組成

セグメント別状況（ラグジュアリー&バンケット事業）

宴会・宿泊部門が好調に推移し前年比増益

単位：億円	2016/12	2015/12	前年比	2016/12	予想比
	実績	実績		予想 (8/8発表時点)	
売上高	262.1	262.4	▲0.2	261.5	0.6
営業利益	9.1	4.4	4.6	8.5	0.6

◆部門別状況◆

ラグジュアリー&バンケット事業 部門別売上高 (単位：億円)

部門	2016年実績	前年比
宿泊	25.0	0.6
婚礼	118.4	▲5.4
宴会	55.6	3.9
料飲	41.5	▲0.2
その他	21.4	0.8
合計	262.1	▲0.2

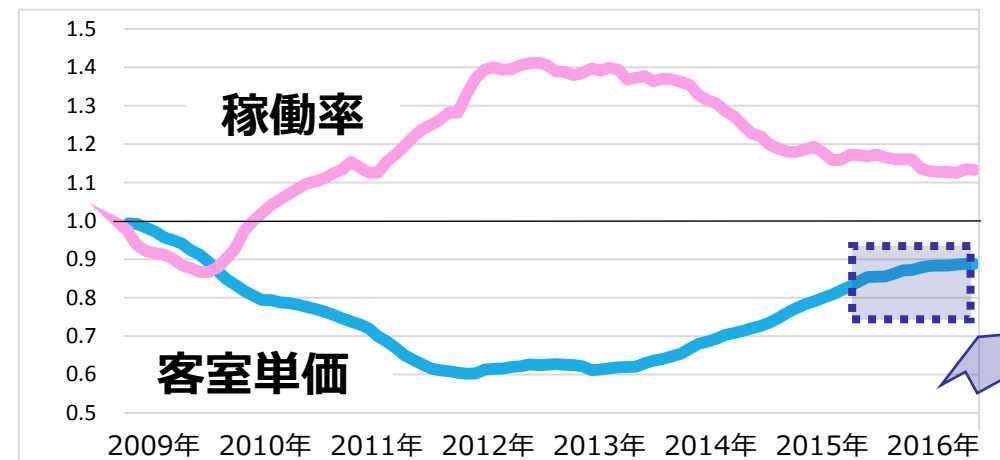
【婚礼】
 コンヴィヴィオン閉業により減収
 ホテル椿山荘東京は前年比減収
 太閤園は好調に推移

【宴会】
 ホテル椿山荘東京にてMICEの
 獲得に成果
 婚礼の減収を宴会部門で補填

【料飲】
 台北に「錦水 TAIPEI」、「光琳」を
 開業するも前年比減収

◆ホテル椿山荘東京稼働率・客室単価推移◆

※2008年の年間累計を1とした移動平均推移

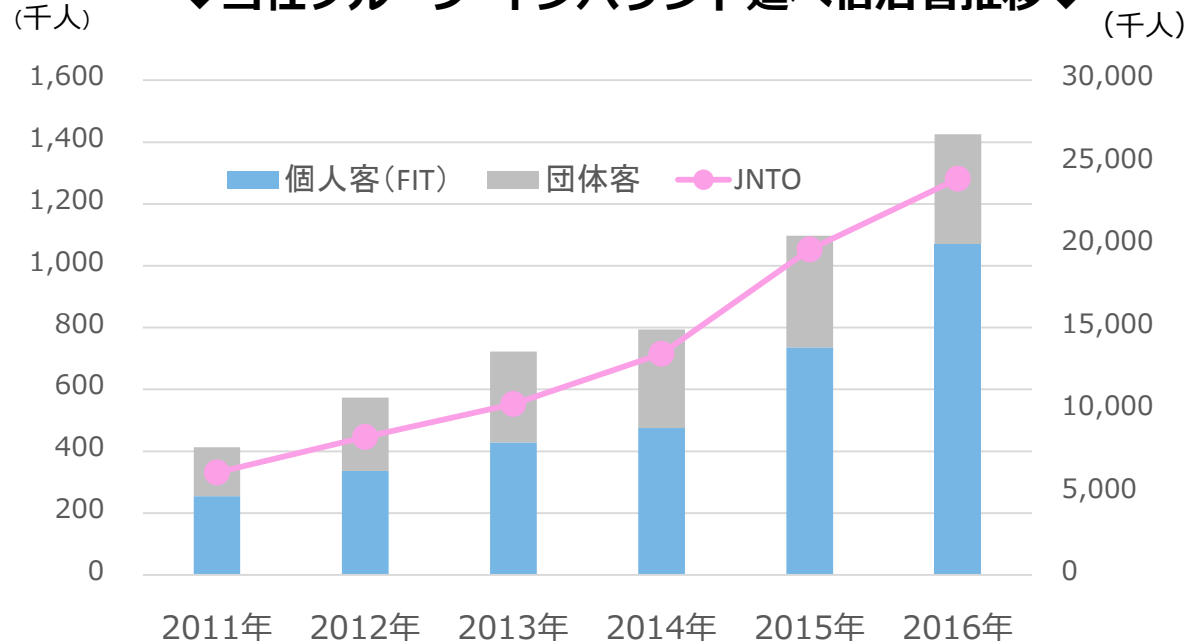


2016年 客室単価
 前年比 約4%上昇

インバウンドの当社状況と施策

個人客（FIT）の誘客を強化

◆当社グループ インバウンド延べ宿泊者推移◆

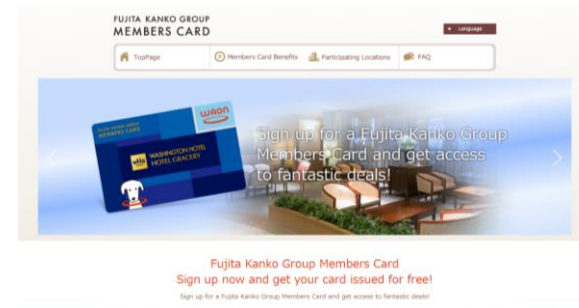


- 2014年以降、個人客（FIT）の誘客を強化
FITは前年比45%の伸長
- 2016年の宿泊延べ人数は142万人、前年比29%増加、
インバウンド比率はグループ全体で約35%

富裕層・個人客の誘客施策



- バンコク、ジャカルタ、上海、北京にて、旅行代理店・
メディアを対象とした招待会を開催
- 上海では、富裕層向けのイベントを開催し和 문화体験等
の情報を発信



オフィシャルサイトのリニューアルや
メンバーズカードの会員募集を開始。
FITのリピーター獲得を図る

【Ⅲ】 2017年度業績予想

通期予想数値（連結）

	2017/12 通期予想	2016/12 通期実績	前年比
単位：億円			
売上高	720.0	687.8	32.1
営業利益	23.0	17.1	5.8
減価償却費等負担前営業利益	83.0	72.1	10.8
経常利益	23.0	16.9	6.0
親会社株主に帰属する当期純利益	11.0	8.5	2.4
設備投資額(キャッシュベース)	111.4	95.0	16.3
減価償却費	48.1	44.6	3.4

通期予想数値（セグメント別）

単位：億円

		2017/12		2017/12		2017/12	
		上期予想	前年比	下期予想	前年比	通期予想	前年比
WHG事業	売上高	168.0	16.4	187.0	9.0	355.0	25.4
	営業利益	6.0	4.0	19.0	0.5	25.0	4.5
リゾート事業	売上高	31.0	1.0	50.0	12.3	81.0	13.4
	営業利益	▲7.0	▲1.8	6.0	4.7	▲1.0	2.9
ラグジュアリー& バンケット事業	売上高	123.0	▲3.2	134.0	▲1.9	257.0	▲5.1
	営業利益	1.0	▲1.9	6.0	▲0.2	7.0	▲2.1
その他および調整額	売上高	13.0	▲1.5	14.0	0.0	27.0	▲1.6
	営業利益	▲4.0	0.0	▲4.0	0.4	▲8.0	0.5
合計	売上高	335.0	12.7	385.0	19.3	720.0	32.1
	営業利益	▲4.0	0.3	27.0	5.5	23.0	5.8

【IV】 セグメント別施策

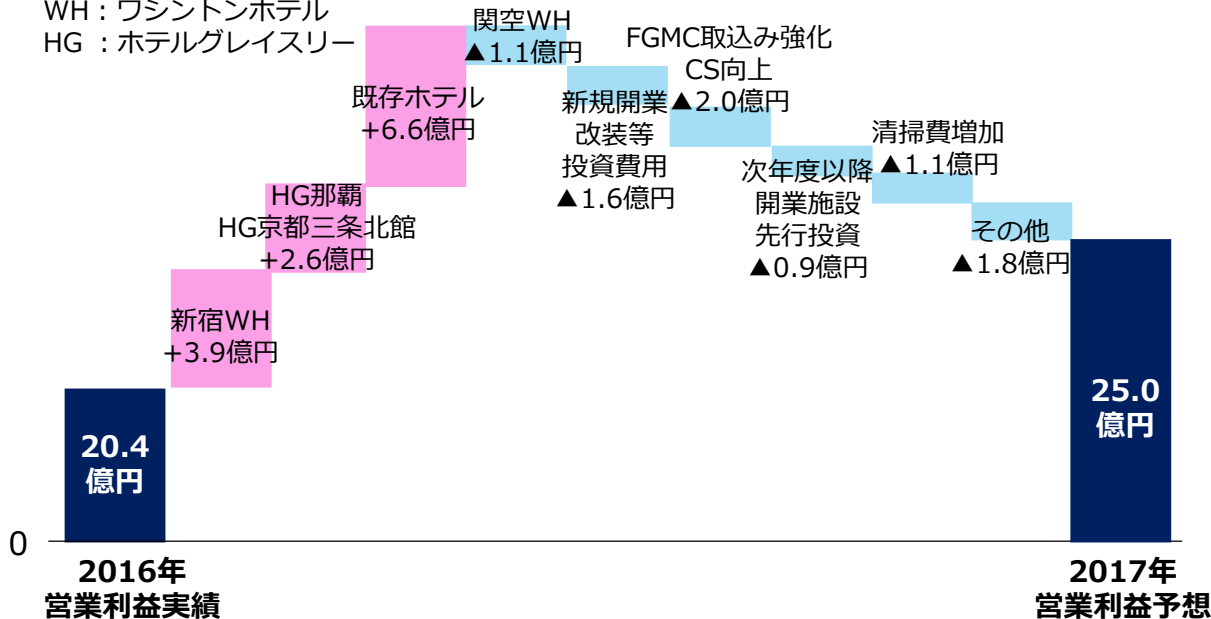
セグメント別施策（W H G 事業①）

会員顧客・個人客の取込みを強化し、客室単価向上を図る

単位：億円	2017/12		2017/12		2017/12	
	上期予想	前年比	下期予想	前年比	通期予想	前年比
売上高	168.0	16.4	187.0	9.0	355.0	25.4
営業利益	6.0	4.0	19.0	0.5	25.0	4.5

◆ 営業利益 前年比増減要因 ◆

FGMC：藤田観光グループ・メンバーズカード
WH：ワシントンホテル
HG：ホテルグレイスリー



◆ 稼働率・客室単価見込み 前年比増減率 ◆

前年比増減率	首都圏	地方	合計
稼働率	0.0%減	0.3%増	0.1%増
客室単価	2.6%増	5.4%増	3.4%増



インバウンドの個人客（FIT）と会員顧客（FGMC）の取込み強化、お客様評価（CS）の向上により、さらなる客室単価の上昇を図る

2016年末よりスマートフォン向けアプリの配信を開始

セグメント別取組み (W H G事業②)

中期経営計画の目標と進捗

今後の成長ドライバーとして位置づけ事業展開を加速

1 新規出店の加速 (10施設3,000室増)

- 2019年までに2,122室の開業が決定
- 3,000室増の目標に対し残り878室も探索を強化

2 競争力強化

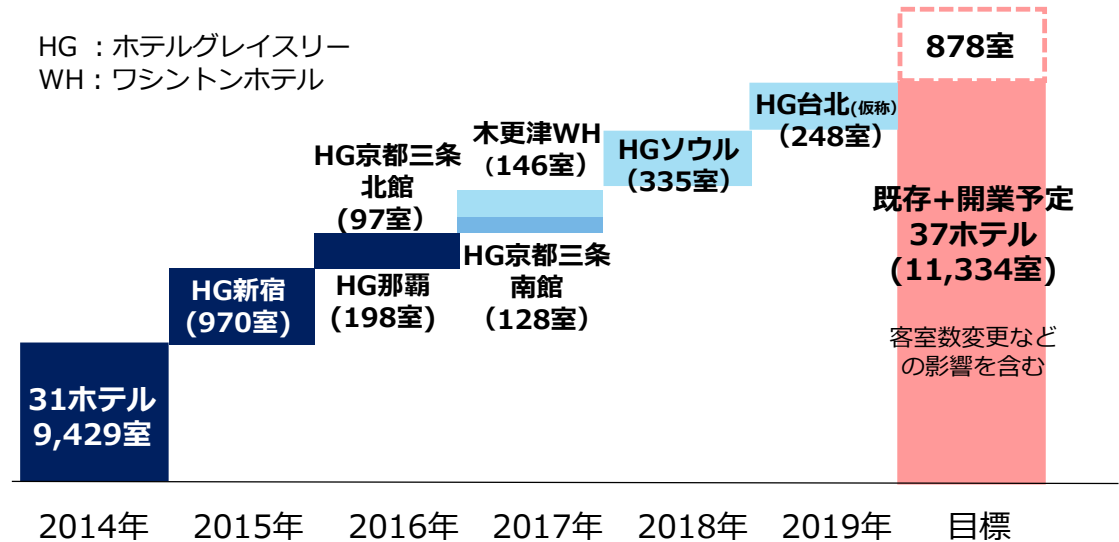
- 客室改装の継続実施
(2017年計画：関西エアポートワシントンホテル、横浜桜木町ワシントンホテル等)
- CS強化のため、2017年～19年までの3カ年計画として
①接客・サービス、②客室品質、③朝食、それぞれについて品質向上を図る

◆2015年～2017年設備投資累計◆

中期経営計画	実績および予想
97億円	103億円

◆今後の客室数推移◆

3,000室増目標のうち
7割 (2,122室) が決定



◆客室改装の実施◆

既存ホテルも段階的に客室改装を実施し、競争力強化、品質向上を図る



関西エアポートワシントンホテル



横浜桜木町ワシントンホテル

セグメント別施策（リゾート事業①）

新たな旗艦施設「箱根小涌園 天悠」が4月に開業

単位：億円	2017/12		2017/12		2017/12	
	上期予想	前年比	下期予想	前年比	通期予想	前年比
売上高	31.0	1.0	50.0	12.3	81.0	13.4
営業利益	▲7.0	▲1.8	6.0	4.7	▲1.0	2.9

◆2017年度 箱根主要施設計画

箱根小涌園 天悠	2017年計画
稼働率	70%台
一人あたり宿泊単価	28,000円台



外観



客室例

- ・2016年10月より宿泊予約の受付を開始
- ・「和・自然」をテーマに、アクティビティを充足

箱根小涌園ユネッサン	前年比
入場人員	9.3%増
一人あたり入場単価	0.9%減

- ・箱根への来訪が増加しているインバウンドの取り込み強化と、森の湯における平日のシニア層の需要を喚起し、入場人員の増加を図る

箱根ホテル小涌園	前年比
稼働率	5.6%減
客室単価	7.6%減

- ・4月20日に開業する「箱根小涌園 天悠」のスムーズな立ち上げを優先し、人的資源を投下

セグメント別施策（リゾート事業②）

中期経営計画の目標と進捗

箱根地区の再開発とアッパーミドル～ハイエンド客層の取り込みに注力

1 箱根小涌園への大型投資

➢ 2017年4月20日「箱根小涌園 天悠」開業
火山性地震の対応と天悠開業に向け人的資源を集中したこともあり、新規施設の検討は今後注力

2 リゾート地での出店拡大（5施設増）

➢ 「由布院 緑涌」より高級旅館のビジネスモデルを吸収
➢ 国内温泉地・リゾート地での新規出店は引き続き検討

◆2015年～2017年設備投資累計◆

中期経営計画	実績および予想
142億円	139億円

◆箱根地区の再開発◆

高付加価値サービスへの転換を図り、天悠に続く新規宿泊施設の開業を進める



◆その他地域での出店◆

- 「由布院 緑涌」の運営経験を活かし、国内温泉地、リゾート地での高級旅館の開業を検討
- 本部にマーケティングチームを発足
新たな顧客層・販路の開拓を進めるとともに、新規開発に注力

セグメント別施策（ラグジュアリー＆バンケット事業①）

ブランド力の強化と収益構造の転換を継続

単位：億円	2017/12		2017/12		2017/12	
	上期予想	前年比	下期予想	前年比	通期予想	前年比
売上高	123.0	▲ 3.2	134.0	▲ 1.9	257.0	▲ 5.1
営業利益	1.0	▲ 1.9	6.0	▲ 0.2	7.0	▲ 2.1

◆ホテル椿山荘東京のブランド力強化と販路拡大◆

「ミシュランガイド」の最高ランク5レッドパピリオンに続き、「フォーブス・トラベルガイド」の4つ星の獲得を受け、今後も社内研修や品質管理を継続
また、新規顧客の開拓とリピーターの誘客を強化

2017年計画	前年比
稼働率	3.6%増
客室単価	6.2%増



©MICHELIN



◆婚礼・宴会部門 収益向上施策◆

売上高に占める宴会部門の比重を上げるとともに、効率化を推進し収益構造の転換を図る

＜ホテル椿山荘東京＞

- MICEの取り込みを強化するため、大型宴会場の改装を実施
- 人気の和婚を前面に打ち出し他社との差別化を図るため、神殿を新設

＜太閤園＞

- インバウンド需要獲得のため、専任のセールsteamを新設し、体制と商品を整備
- ゲストハウス「桜苑」の独立販売体制の強化

セグメント別施策（ラグジュアリー&バンケット事業②）

中期経営計画の目標と進捗

「ホテル椿山荘東京」ブランドを核に高品質な事業を展開

1 「椿山荘」を婚礼ブランドからホテルブランドへ

➢ ミシュランガイド10年連続最高ランク獲得、
フォーブス・トラベルガイドにて4つ星を獲得、
今後もハード・ソフト両面で品質を向上

2 レストラン事業の積極的展開（5店舗増）

➢ 2016年1月の『錦水 TAIPEI』に続き、12月
に台北にて『割烹料理 光琳』を開業

3 婚礼事業の領域拡大（5施設増）

➢ 2015年1月広島の婚礼施設2施設を取得
➢ 地方都市を中心に新規開業を探索

◆2015年～2017年設備投資累計◆

中期経営計画	実績および予想
95億円	70億円

◆更なる品質向上に向けた取組み◆

第4期目の客室改装を実施

フォーブス・トラベルガイドの最高ランク5つ星
を目標に、社内研修、品質管理を実施



2016年に改装した和室スイート

◆レストラン展開の継続◆

2016年1月「錦水 TAIPEI」、12月「割烹料理 光琳」を
開業、今後も主にアジアでの出店を検討



錦水 TAIPEI by HOTEL CHINZANSO TOKYO



割烹料理 光琳

◆婚礼事業の領域拡大◆

広島婚礼プロデュース会社「(株)Share Clapping」（株かわの
より商号変更）に続く展開を、地方大都市圏にて探索中

株主還元

配当方針

株主の皆さまへの還元に必要な配慮をするとともに、企業体質の一層の強化と事業展開に活用する内部留保の蓄積も勘案のうえ、業績に応じた配当を行うことを基本方針としております。

配当実績および予想

年度	2012	2013	2014	2015	2016	2017 (予想)
配当	4円	4円	4円	4円	4円	40円 (※)

※2017年7月1日をもって、単元株式数の変更ならびに株式併合を予定

会社概要

会社概要

設立年月日	1955年11月7日
資本金	12,081百万円
決算月	12月
上場取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	9722
単元株式	1,000株
発行済株式数	122,074千株
株主数	18,880名
主な営業種目	ホテル・旅館業・飲食店業他
従業員数	1,356名 (期中平均有期雇用者数3,427名)

大株主 (2016年12月31日現在)

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
DOWAホールディングス株式会社	38,143	31.81
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,579	3.81
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,016	2.51
明治安田生命保険相互会社	3,008	2.50
日本生命保険相互会社	2,184	1.82
清水建設株式会社	1,842	1.53
アサヒビール株式会社	1,811	1.51
株式会社みずほ銀行	1,806	1.50
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,806	1.50
ユニゾホールディングス株式会社	1,686	1.40

※自己株式 2,182千株

所有株式数は千株未満を切り捨て表示
 持株比率の算定は、発行済株式の総数から自己株式2,182千株を除き、
 小数点第3位以下は切り捨てて表示

WHG事業グループ

<<ホテル【客室：10,566室（開業予定+857室）>>

藤田観光ワシントンホテル旭川
 仙台ワシントンホテル
 浦和ワシントンホテル
 秋葉原ワシントンホテル
 新宿ワシントンホテル 本館
 東京ベイ有明ワシントンホテル
 横浜桜木町ワシントンホテル
 横浜伊勢佐木町ワシントンホテル
 関西エアポートワシントンホテル
 広島ワシントンホテル
 キャナルシティ・福岡ワシントンホテル
 長崎ワシントンホテル

青森ワシントンホテル (FC)
 八戸ワシントンホテル (FC)
 山形七日町ワシントンホテル (FC)
 山形駅西口ワシントンホテル (FC)
 会津若松ワシントンホテル (FC)
 郡山ワシントンホテル (FC)
 燕三条ワシントンホテル (FC)
 立川ワシントンホテル (FC)
 宝塚ワシントンホテル (FC)
 佐世保ワシントンホテル (FC)

ホテルグレイスリー札幌
 ホテルグレイスリー新宿
 ホテルグレイスリー銀座
 ホテルグレイスリー田町
 ホテルグレイスリー那覇
 ホテルグレイスリー京都三条 北館

ホテルグレイスリー京都三条 南館 (2017年5月開業予定)
 木更津ワシントンホテル (FC) (2017年秋開業予定)
 ホテルグレイスリーソウル (2018年夏開業予定)
 ホテルグレイスリー台北 (仮称) (2019年開業予定)

ホテルフジタ福井
 ホテルフジタ奈良

いわきワシントンホテル (MC)
 新宿ワシントンホテル 新館 (MC)
 千葉ワシントンホテル (MC)

会員制リゾートホテル

<<ホテル【客室：460室】>>

ウスタリアンライフクラブヴェルデの森
 ウスタリアンライフクラブ箱根
 ウスタリアンライフクラブ熱海
 ウスタリアンライフクラブ宇佐美
 ウスタリアンライフクラブ鳥羽
 ウスタリアンライフクラブ野尻湖
 ウスタリアンライフクラブプロミネント車山高原

海外現地法人・駐在員事務所

上海
 ソウル
 台北
 バンコク
 ジャカルタ

リゾート事業グループ

<<ホテル【客室：659室（開業予定+150室）】>><< レストラン >>

箱根ホテル小涌園
 箱根小涌園 美山楓林 (みやまふうりん)
 B&Bパンシオン箱根
 伊東小涌園
 伊東 緑涌(りよくゆう)
 由布院 緑涌 (りよくゆう)

蕎麦 貴賓館
 鉄板焼 迎賓館

レストランあかしあ亭 (MC)

<< レジャー >>

ホテルやまなみ (MC)
 十和田ホテル (MC)
 湯河原温泉ちとせ (MC)
 グリーンパル湯河原 (MC)

箱根小涌園ユネッサン
 箱根小涌園森の湯
 下田海中水族館

箱根小涌園 天悠 (てんゆう) (2017年4月20日開業予定)

ラグジュアリー&バンケット事業グループ

<<ホテル【客室：389室】>>

ホテル椿山荘東京
 ホテルアジュール竹芝
 (2017年3月31日営業終了)

<< レストラン >>

シビックスカイレ스토랑椿山荘
 錦水 TAIPEI by HOTEL CHINZANSO TOKYO
 割烹日本料理 光琳 (こうりん)

東京大学 伊藤国際学術研究センター内レストラン (MC)
 明治大学 紫紺館 フォレスト椿山荘 (MC)
 エフエム東京 JET STREAM (MC)
 エフエム東京 CORNET (MC)

<< 婚礼 >>

太閤園
 桜苑
 The South Harbor Resort
 ルメルシェ元宇品
 マリーエイド

<< レジャー >>

カメラアヒルズカントリークラブ
 能登カントリークラブ

IR担当部門 （お問合せ先）

藤田観光株式会社 企画グループ広報担当

小宮山 ・ 北原 ・ 塩澤

TEL : 03-5981-7703

Mail : h-koho@fujita-kanko.co.jp

注意事項 :

当資料は、藤田観光グループの業績および今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。また、注記を行っている場合を除き、2016年12月31日現在のデータに基づいて作成しております。

尚、当資料に掲載された予測等は作成時点での当社の判断であり、経営環境の変動により今後変更される可能性がありますのでご了承ください。

当資料の転載はご遠慮ください。